

平成 20 年度国内概況および平成 21 年第 1 四半期(1~3 月)国内概況

<平成 20 年度>

- ◆実質国内総生産（GDP=2000 年基準）は、対前年度比 3.5%減なり、戦後最大の減少率となった。鉱工業生産指数（2005 年=100）は、12.7%低下の 94.4 となった。国内企業物価指数は、3.2%上昇と、原油など素材価格の高騰の影響で上昇した。消費者物価指数も、1.1%上昇となった。
- ◆一次エネルギー総供給は対前年度比で 2.3%減であった。石炭は 1.1%減、石油合計は 3.7%減、LNG は 0.2%減、原子力は 2.2%減、水力は 1.2%減となった。輸入合計は 2.4%減、輸入依存度は、前年度と同じ 86.0%となった。
- ◆電灯電力需要は 10 電力会社の販売電力量合計で対前年度比 3.3%減少した。発電電力量は 4.2%減となった。燃料消費実績の前年度比は、石炭 3.7%、原油 29.4%、重油 13.8%、LNG 2.8%とそれぞれ減少した。
- ◆燃料油販売は対前年度比 8.0%減となった。原油処理は 4.1%減、原油輸入量は 3.1%減となった。製品輸入計は 8.6%減、製品輸出は 17.8%増となった。
- ◆都市ガス販売量は対前年度比 3.9%減となった。用途別では、家庭用は 2.3%減、商業用は 3.7%減、工業用は 5.0%減となった。

<平成 21 年・第 1 四半期（1~3 月）>

- ◆実質国内総生産（GDP 季節調整済み=2000 年基準）は、前期比 4.0%減となった。鉱工業生産指数（季節調整済み=2005 年基準）は、前期比 22.1%低下となった。国内企業物価指数は前年同期比 1.8%減、消費者物価指数も同 0.1%低下となった。
- ◆一次エネルギー総供給は、対前年同期比で 9.8%減となった。石炭は 13.0%減、石油合計は 14.4%減、LNG は 6.2%減、原子力は 10.4%増、水力は 11.5%増となった。
- ◆電灯電力需要は 10 電力会社の販売電力量合計で前年同期比 9.9%減少した。発電電力量は 11.0%の減少となった。燃料消費は、石炭が 13.9%、LNG は 8.0%の減少、原油、重油はそれぞれ 71.7%、47.9%の大幅減となった。
- ◆燃料油販売は、前年同期比 11.4%減となった。原油処理量は 9.1%減、原油輸入量は 13.4%減、製品輸入は 22.2%減、製品輸出は 2.5%増となった。
- ◆都市ガス販売量は、前年同期比 11.3%減となった。用途別では、家庭用は 4.0%減、商業用は 5.2%減、工業用は 20.5%減となった。